

— 自然と人間のより良い接点を求めて —

株式会社 菊池技研コンサルタント



所在地：〒022-0007 岩手県大船渡市赤崎町字石橋前6番地8
 TEL：0192-27-0835
 FAX：0192-26-3972
 URL：http://www.k-giken.co.jp/
 創業：昭和38年2月
 代表者：代表取締役 菊池 透
 従業員：80名



創業50周年記念式典



本社工舎



大船渡市夏まつり「市民道中踊り」に参加



安全大会



救急救命研修



UAV操作訓練



マルチコプター (S900)



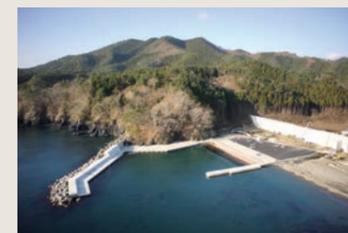
品質管理奨励賞 (基準点) 受賞



東日本大震災 (本社屋上から)



大船渡魚市場敷地造成測量調査設計



合足漁港船揚場設計



吉高地区道路測量調査設計

あゆみ

弊社は昭和38年2月に創業者“菊池喜清 (現弊社会長)”が、岩手県大船渡市において測量・設計及び土地家屋調査士の補助を生業として産声をあげました。

豊かな太平洋と北上山地の大自然と、人情味豊かな地域の方々に育てられながら現在の弊社の礎を築いてまいりました。

平成元年に現在地に本社工舎を新築し、その後一関支店、盛岡支店と相次いで新築、地元雇用を計りながら地域密着型の企業として岩手県下を網羅した総合建設コンサルタントとして育てていただきました。

弊社は県・市町村の官公庁が主体ですが、最近では国土交通省、農林水産省 (林野庁)、防衛省、環境省等多くのお客様に恵まれ、東北6県を業務エリアとして営業を展開しております。常に「安全・安心」を心がけ自然と人間が共存できる環境づくりを目指し地域の発展を願い、平成25年には創業50周年を迎え今日に至っております。

経営理念

「波羅密 (布施・忍辱・持戒・精進・禪定・知慧) の教えを規範とし 社会性 公共性 公益性の使命を念頭に据え 社会の信頼に応え 活力に満ちた企業とし

て社会に貢献する」を経営理念としております。禅の“六波羅蜜”の教えを基本に据え、人間として企業としての在り方をそこに見だし、そして社是「誠意・熱意・創意」の三意を柱とし、日々の業務を通して明るい豊かな社会の実現を目指しております。

社員教育

「企業は人なり」

弊社では人材育成に力を注いでおり、社員全体の一般教育 (外部講師招聘) は年次計画より実施しております。また職掌に応じた情意教育や技術研修等を行っております。特に技術士、RCCMの資格取得のための研修・講習会等に積極的に取り組んでおります。さらに業務における労働災害撲滅に向け、安全衛生委員会が主体となって毎年安全大会を開催し、安全衛生意識の向上に努めております。

県内コンサルのトップ企業としての自覚と責任において、今後ますます人間力、技術力の研鑽を重ねてまいります。

技術開発

国土交通省は、今後の新しい方向として「i-Construction」を提唱し、建設現場の生産性向上に

向けた測量・設計から施工、更に管理に至るまでの全プロセスにおける情報化を推進しております。

弊社でも建設ICT技術の研鑽に積極的に取り組んでおります。UAV等による3次元データを用いたICT建機との連動は、建設分野の生産性向上に繋がり、より早く、より正確で、より安全な業界の発展が望める事となります。

弊社では積極的に技術開発に取り組み、安全で先進的な建設業界の発展にむけ技術開発を続けております。

社会貢献

弊社では業務を通じた社会貢献はもとより、毎年河川・道路等の清掃活動を社員全員で行っております。また、日本赤十字社を通して年2回、献血車を本社に招き、社員並びに近隣の人々と地域一体で献血活動に取り組んでおります。

弊社には互助会があり社員同士の繋がりはもとより、東日本大震災の経験から、国内外を問わず大きな災害が発生する度に社員全員で被災地の一助にしておらうと募金活動を行っています。毎年末には地域歳末たすけあい運動に賛同し、支援を必要とする人たちが安心して暮らすことができるよう募金活動も行っています。

また、大船渡市主催の夏まつりには毎年多くの社員が積極的に参加し、東日本大震災後の早期の復興を願い協力しております。

東日本大震災の被災地として

平成23年3月11日、M9.0の千年に一度といわれる東日本大震災の大津波によって、弊社も社屋が壊滅的な被害を受けました。

被災直後は社員の安否確認と汚泥と瓦礫の山の片付けを行いながら、一方では被災した沿岸地域の調査依頼に応えるべく、連日自社の復旧と災害調査に明け暮れました。幸いにも社員は全員無事で、一丸となり地域の早期復旧に全力を傾注いたしました。これも多くの方々からのご支援によるところが大きかったと思います。

あれから5年を経過し、弊社は立ち直ったものの市街地や港湾、海岸等はまだまだ復興途上であります。この地域が震災前の様な明るい笑顔でいっぱいになるために、仕事を通して貢献していく事を全社員で誓います。

(文：常務取締役 新沼 幸)